



¡メキシコ留学体験記!



外国語学部 スペイン語学科4年
吉澤 まゆ

¡Hola!

神奈川大学スペイン語学科の吉澤まゆです。私は、昨年8月から12月までメキシコに留学をしてきました。実際に現地に行き、さらにメキシコが大好きになりました。

UNINTER

私はクエルナバカにあるメキシコ国際大学UNINTERのSpanish Schoolプログラムに通っていました。クラスは1日2クラスで、文法と会話の授業がありました。3~4人の少人数にクラス分けがされていて、質問や発言がしやすく楽しい授業でした。週に1度、筆記と面接のテストがありました。週末は、定期的にイベントや遠足などの活動を用意してくれるので積極的に参加をしていました!

Mi familia mexicana

メキシコ人の家族の家にホームステイをしていました。大学から歩いて5分くらいで、私のようにホームステイをしている大学の生徒たちも一緒に暮らしていました。みんな本当に温かくて優しい人ばかりでした。料金は日本円で1ヶ月31,000円くらいで、平日はメキシコ人のお母さんが2食作ってくれていました。メキシコのご家庭料理もたくさん食べる事ができてよかったし、とても美味しかったです。ごはん中はみんなでどんな1日だったかを話したり、週末に何をするかなどの計画を立てたりして毎日がとても楽しかったのを覚えています!



私はモレロス州にあるクエルナバカに住んでいました。スペイン語で“La ciudad de la eterna primavera”『永遠の春の街』と呼ばれていて、とても過ごしやすい気候でした。アメリカ大陸最古の教会やエルナン・コルテスの宮殿などたくさんの歴史的建造物や博物館、美術館などがあります。



街の大きなポスターになりました!

休日は、UNINTERのイベントや遠足に参加したり、友達と計画を立てて旅行をしたりしていました。たくさん外に出て、なるべく現地の人たちと一緒に過ごしてスペイン語だけでなく、たくさんの経験をして色々なことを学びました。ずっと教科書で見っていた世界遺産のテオティワカンやソチカルコ、ずっと行きたかったテポストラン、メキシコシティで有名なソチミルコに実際に足を運べたものすごくワクワクしました。綺麗な海があるアカプルコやオルメカ文明のあるオアハカなどにも行き、訪れる場所によって文化や現地の人々の雰囲気の違いを感じる事ができてとても楽しかったです。様々な地域出身の友達ができただけでたくさん案内してくれました。街にはいつもマリアッチがいて、メキシコ音楽が溢れ、みんなが陽気に踊っていました。毎日が刺激的で本当に楽しくてメキシコの全てが恋しいです。またすぐに戻りたいです!!



¡Fue mi cumpleaños!



“EL DÍA DE LOS MUERTOS”

一番楽しかった行事は、有名な死者の日です。死者の日は、毎年11月1日と2日に行われるメキシコの伝統文化です。死者を偲び、感謝して生きる喜びを分かち合うことを目的としています。1日は子どもの魂が、2日は大人の魂が戻る日とされています。日本のお盆に似ていますが、メキシコでは明るく陽気に祝うのが特徴的です。オフレンドと呼ばれる祭壇には食べ物や飲み物、花、ロウソクなど様々なものが飾られます。住居だけでなく、街の中心部や公園など人の目につく場所にも置かれています。この時期、街はセンパスチトルという花の香りと華やかな色でいっぱいになり、この花は死者の魂がこの世に戻るための道標になると考えられています。私はオアハカで死者の日を過ごしたのですが、すごく伝統的な祝い方をされていて、陽気な雰囲気の中にもどこか悲しさを感じました。



メキシコでは頻りにバッタを食べます。想像していたより悪くなかったです。味付けが梅干みたいでした。メキシコ人はこれと一緒にテキーラを飲みます。



もちろんメキシコでの生活は楽しいだけでなく、苦勞したこともたくさんあります。まず、人間関係です。日本のように察することがほとんどないので、自分の意見や気持ちをはっきり言わなければ伝わらないのだと気づきました。また時間のルーズさは想像以上でした(笑)。そして蚊や蜘蛛が多くて、足が傷だらけになったのが辛かったです。少し高いですが、日本から持っていくムヒや痒み止めよりも現地で売っているものの方が効果を感じました。また、道がガタガタしているので乗り物酔いが激しい人は辛い思いをするかもしれません。私が一番苦勞して、学んだことは会話のテーマの深さです。これはメキシコ人というよりもヨーロッパの人たちと関わっていて感じたことですが、日本について聞かれると思っていなかったことを聞かれたり、普通に政治や宗教の話がテーマで出てきたりします。私は日本語でも友達とそのようなテーマを話すことがなかったので、それをスペイン語で話すことはすごく苦勞しました。しかし、とても刺激的で学ぶことがたくさんあり、今後の自分の成長に繋がる経験でした。

本当に大満足な最高の留學生活を送れました。こんなに素敵な経験をさせてくれた、神奈川大学とメキシコ国際大学UNINTERにとっても感謝しています。留學に行く前の語学力は、文法は知っていたものの会話はほぼできない状態でした。まだまだ満足できるレベルではありませんが、現地の人と交流をしたり、メキシコで困らずに生活ができるようになったりしたので達成感を感じています。メキシコ人だけでなく、様々な国の友達とも交流をして色々な文化や歴史を知るとともに、日本について改めて考える機会にもなり、自分の国である日本の素晴らしさを感じることもできたのでよかったです。また5ヶ月間で、信じられないような経験、恐ろしい経験もたくさんしました。しかしどんな状況でも冷静に判断し、行動する力が身についたと思います。そして毎日たくさんの人と交流をし、たくさんのことを学ぶことによって自分の視野



私の名前の意味は白い薔薇なのですが、ナワトル語では、Xochizuatl iztacだと教えてくれました！

も広がり、自信ができました。帰国してからすでに半年以上が経ちますが、今は日本人にラテンアメリカを広めるための活動に参加をしたり、スペイン語向上のためにペルー料理屋でアルバイトをしたりしています。この経験を今後の自分に活かしてさらに成長し、またすぐにラテンアメリカを旅したいです!!



¡¡Viva la amistad entre México y Japón!! Muchas gracias :)